

# 埼玉県

## 平成19年度 NPO協働提案推進事業 募集要項



埼玉県のマスコット コバトン

アイデアに富んだ公益事業をNPOに提案していただき、提案したNPOに埼玉県が委託してその事業を実施します。

NPOと行政とが対等なパートナーとして協働するためのモデルづくりを目指します。

皆さんからの御応募をお待ちしています。

平成19年4月

埼玉県総務部NPO活動推進課

この事業は、

「埼玉県特定非営利活動促進基金(埼玉県NPO基金)」

を活用しています。

## 1 概要

福祉や環境、教育やまちづくりなど、様々な分野の問題に迅速かつ的確に対応するには、行政とNPOとの協働が重要となっています。こうした行政とNPOとの協働を推進していくため、NPOと県との協働事業についての提案を募集し、その中からふさわしいものを選び、提案したNPOに事業の実施を委託します。

注：この事業は、埼玉県が委託するもの（委託事業）であり、団体に対する助成（財政援助）とは異なります。

## 2 対象となる事業（次の～のすべての項目に該当するもの）

NPOと県が協働して行う事業としてふさわしいもの

### a 自由な提案（分野等は問いません。）

**提案における事業内容等のお問い合わせはNPO活動推進課までお願いします。**

**連絡先（直通）048-830-2839**

### b 次のテーマのいずれかに沿った提案（概要は6ページ～「テーマについて」参照）

**提案内容に関するお問い合わせは、各テーマ課へ直接お願いします。**

**各テーマ課の連絡先は6ページ以降で御確認ください。**

ア 織物サミットの開催

イ 非行等からの立ち直り支援に関するモデル事業

ウ 介護予防のまちづくり

エ 実践的IT活用に関する若手商業者の育成

オ 「団塊の世代」など中高年世代に対する地域社会への進出支援

カ 「働く障害者のことが食卓の話題になる日」啓発プロジェクト（障害者の雇用・就労に関する啓発事業）

キ 地域住民の参加による「カエデの森づくり」

ク 野生獣類による森林被害の防除対策

ケ 川をつかった地域活性化～元荒川（旧吹上地区）でのイベント開催～

コ 「川の教室」づくり

サ 河川の流域一体となった地域おこし

シ 秩父路魅力アッププロジェクトの新たな活動

ス みんなで育てる公園づくりに向けた協働事業の仕組みづくり

広域的な事業（地域的な事業の場合には、全県的な波及効果が見込まれる事業）

提案する団体の定款の目的又は通常の活動に沿った事業

他の助成等を受けていない事業

平成20年2月29日までに完了する事業

### 3 応募資格（次の ~ のすべての項目に該当すること）

不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とする民間団体であること（特定非営利活動法人、市民活動団体、ボランティア団体に限る。）  
事務所を県内に有し、県内を中心に活動している団体であること  
構成する会員が10人以上いる団体であること  
定款又は会則等を設けている団体であること  
宗教活動や政治活動を主たる目的とした団体でないこと  
特定の公職者（候補者を含む）、又は政党を推薦、支持、反対することを目的とした団体でないこと  
暴力団でないこと、暴力団若しくは暴力団員の統制下にある団体でないこと

### 4 対象となる経費

事業の実施に直接必要となる経費（旅費、通信運搬費、消耗品費、印刷製本費、賃借料、謝金、保険料、事業実施のための人件費等）とします。  
備品等財産の取得に係る経費は認めません。

### 5 委託費

1件あたり150万円を上限とします。  
（総額600万円の範囲内で、複数の事業を実施します。）  
経費の支払は、原則として履行確認後（事業完了検査後）に行います。なお、必要に応じて、全部又は一部を概算払いする場合があります。

### 6 提出書類

応募書類チェックシート  
平成19年度NPO協働提案推進事業提案書（様式第1号）  
団体概要（様式第2号）  
成年被後見人等に該当しないことを確認した旨の書面（様式第3号）（任意団体のみ）  
団体目的等についての確認書（様式第4号）（任意団体のみ）  
定款又は会則等  
直近2か年間の事業報告書又はこれに代わるもの（法人については所轄庁に提出したものの写し）\*1  
直近2か年間の収支計算書又はこれに代わるもの（法人については所轄庁に提出したものの写し）\*1  
会員名簿（任意団体のみ）

その他参考資料（提出は任意。提出する場合は、10ページ以内に分かりやすくまとめてください。冊子不可。）

- \* 1 活動歴が2年未満のため、これらの書類を提出することができない団体については、団体立ち上げから現在までの団体の活動歴及び平成19年度の団体の活動計画（予算概要を含むこと）を提出してください。
- \* 2 提出書類の大きさは、日本工業規格A4判としてください。
- \* 3 提出書類は、パソコン等で作成し白黒で印刷いただくか、黒又は青のボールペンで御記入ください。また、文字の網掛け等、コピーした際に見えるようになるおそれのある手法は用いないでください。
- \* 4 提出は正副2部お願いします。（副については、コピーでも可とします。また、副はホチキス等でとじずに提出してください。）
- \* 5 提出いただいた書類はお返しできません。

## 7 募集期間・提出先

募集期間：平成19年4月2日（月）から

平成19年5月1日（火）午後5時 まで

提出方法：直接持参または郵送（郵送の場合は、当日消印有効）

提出先：埼玉県総務部NPO活動推進課

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1

（県庁第三庁舎3階）

## 8 審査・選考方法

### （1）第1次選考

提案されたすべての事業について、学識経験者、公募により選任されたNPO関係者及び企業関係者を含む「NPO協働提案推進事業審査評価委員会（以下「委員会」という。）」による書類審査を行います。

### （2）第2次選考

第1次選考を通過した事業について、公開プレゼンテーションを行い、委員会の審査により、実施する事業の候補を決定します。

### （3）事業の決定

第2次選考の結果、事業の候補となったものについて、担当課と詳細を協議し、実施する事業として決定します。

- \* 審査結果は、御応募いただいた全ての団体に郵送でお知らせします。

## 9 審査基準

### (1) 第1次選考

| 項目            | 主な内容  |
|---------------|---|
| 社会貢献性         | 事業の成果が広く県民に還元されるか。                                  |
| 先進性           | 埼玉県の新規施策にふさわしい事業か。また、社会に新たな仕組みを生み出すことなどが期待できるか。     |
| 実現可能性         | 実行可能な方法、計画で立案されているか。                                |
| 発展性           | 本事業終了後、団体の事業として発展が見込めるか。                            |
| 経費の適正性        | 提案された事業を実施するための経費が適切に計上されているか。                      |
| 組織体制、<br>活動実績 | 提案した事業を確実に実施するための十分な組織体制や活動実績があるか。                  |
| 団体の特性         | 団体の特性や専門性が活かされた提案であるか。また、経常的な活動は、資金等の面で着実に実施されているか。 |

### (2) 第2次選考

- ・総合審査

## 10 事業のスケジュール

| 項目                     | 日時・場所  | 備考                                  |
|------------------------|--|-------------------------------------|
| 募集期間                   | 平成19年4月2日(月)<br>～平成19年5月1日(火)                                  |                                     |
| 募集説明会                  | 平成19年4月11日(水)<br>場所：熊谷地方庁舎<br>平成19年4月12日(木)<br>場所：新都心ビジネス交流プラザ | <u>申込が必要です。</u><br>詳細は13ページを御覧ください。 |
| 第1次選考<br>(書類審査)        | 平成19年5月下旬  | 委員会による審査                            |
| 第2次選考<br>(公開プレゼンテーション) | 平成19年6月中旬<br>(詳細は後日お知らせします。)                                   | 委員会による審査                            |
| 委託先候補決定                | 平成19年7月上旬  |                                     |
| 担当課と詳細協議               | 平成19年7月中旬～   |                                     |
| 委託契約                   | 平成19年7月下旬  |                                     |
| 事業実施                   | 平成19年7月下旬<br>～平成20年2月  |                                     |
| 事業評価                   | 平成20年3月上旬  |                                     |
| 事業報告会                  | 平成20年3月下旬  |                                     |

## 11 情報公開

事業の「公正性」「透明性」を高めるため、応募の状況（団体名及び提案事業名）と審査結果はホームページ上で公開します。

御提出いただいた書類は、情報公開の対象となります。

採択された団体については、積極的な情報提供をお願いします。

## 12 その他

提案に当たり相談等がある場合には、事前の予約をお願いします。

提出された書類に虚偽の記載が発見された場合には、委託決定後又は契約締結後であっても、委託決定の取消し又は契約の解除をすることがあります。

担当課との協議の中で、事業内容を一部変更していただく場合があります。

契約にあたっては、埼玉県財務規則第81条の規定に基づき、契約金額の百分の一以上を契約保証金として埼玉県に納めていただきます。なお、契約保証金の全部又は一部の納付を免除する場合があります。

事業の再委託については、原則として認めません。

必要に応じて事業に係る領収書、出納簿等の確認及び現地視察をさせていただく場合があります。

事業実施団体については、年度末に、実施事業の検証や促進を目的とした事業評価を実施していただきます。

事業実施に当たっては、当事業が埼玉県特定非営利活動促進基金（埼玉県NPO基金）を活用して行っていることの広報を盛り込んでください。（パンフレット等の印刷物を作成する際に使用する「埼玉県NPO基金」マークの画像データを提供します。）

## テーマについて

「b 次のテーマのいずれかに沿った提案」のテーマの概要は以下のとおりです。  
 ( 1ページの「2 対象となる事業」にあるとおり、「a 自由な提案」での応募も可能です。)  
 これらのテーマは、県の各担当課からの提案を基に、「NPOと県との協働のための意見交換会」や委員会において協議を行い、設定したものです。

|   |  |                 |
|---|--|-----------------|
| ア | 織物サミットの開催  |                 |
|   | 秩父地域創造センター 県民交流担当  | 代表:0494-24-1110 |
| 1 | <p>テーマの説明</p> <p>かつて秩父は絹生産が盛んで、「秩父銘仙」は全国を風靡しました。同様に、埼玉県各地には優れた織物文化が点在し、高度成長前期の主要産業である繊維界で、埼玉が一大拠点であったと窥えます。いま、埼玉の地域活性化を考える上で、歴史文化を再評価し、新たな利活用を図ることが重要ではないでしょうか。</p> <p>そこで、県を横断して共有する織物文化をテーマに、創意工夫を凝らした地域づくりを県内で一斉に進めようとするものです。</p> |                 |
| 2 | <p>NPOに期待するもの</p> <p>例えば次のような取組を期待します。</p> <p>各地で開催する織物イベントをスタンプラリー方式で巡る。</p> <p>各地の織物を集め、巡回展示を行う。</p> <p>埼玉織物の活用を図るシンポジウムの開催。</p> <p>なお、地域おこしに取り組む複数のNPOが手を結び、協働して実施できればより効果的と考えます。</p>   |                 |

|   |   |                 |
|---|---|-----------------|
| イ | 非行等からの立ち直り支援に関するモデル事業   |                 |
|   | 青少年課 非行防止・環境づくり担当   | 直通:048-830-2904 |
| 1 | <p>テーマの説明</p> <p>青少年の非行が依然として深刻な状況にある中で、罪を犯した少年が再び非行を繰り返さないよう、その立ち直りを促進するための支援が必要です。</p> <p>そのためにはどのような支援が考えられるか、NPOにモデル的な事業について提案していただき、社会全体で非行少年等の立ち直り支援に取り組む気運の醸成を図りたいと考えています。</p>                               |                 |
| 2 | <p>NPOに期待するもの</p> <p>青少年を非行等から立ち直らせることは、再犯を防止するという点で非行防止対策にとって極めて重要なことであり、現実的で有効な立ち直り支援事業を実施していくためには、実際に非行少年等と向かい合っているNPOの発想や情報を取り入れることが必要です。</p> <p>非行問題等に取り組んでいるNPOから非行に悩む親子への相談や更生を目指す体験活動などの具体的な提案を期待しています。</p> |                 |

|  |              |                 |
|--|--------------|-----------------|
| ウ  | 介護予防のまちづくり   |                 |
|  | 介護保険課 地域支援担当 | 直通:048-830-3251 |
| 1 テーマの説明   |              |                 |
| <p>改正介護保険法で創設された介護予防事業は、対象となる高齢者が少なく、事業の実施も低調である。このため、介護予防事業に積極的に参加してもらい、事業終了後も引き続き介護予防が継続されるよう、介護予防を地域で進める仕組みづくりが必要である。</p> <p>そこで、介護予防という個人の問題を、みんなの問題に変えていく「介護予防のまちづくり」をNPOとの協働により進めたい。</p>                               |              |                 |
| 2 NPOに期待するもの   |              |                 |
| <p>NPOに特有の2つの力を活かした提案を期待したい。</p> <p>地域の多様な個人や団体を結びつけ、新しいネットワークを形成する。資金や知識、技能、情報など様々な社会資源を有機的に結びつける。このような人や資源をつなげる機能によって、地域社会を活性化する力</p> <p>地域の様々な課題を発見し、課題解決の新たな手法の開発や提言を行い、地域全体の課題解決能力を向上させ、市民が主体となった地域社会の形成に役割を担おうとする力</p> |              |                 |

|   |                     |                 |
|---|---------------------|-----------------|
| エ   | 実践的IT活用に関する若手商業者の育成 |                 |
|   | 地域商工業支援課 商店街育成指導担当  | 直通:048-830-3761 |
| 1 テーマの説明  |                     |                 |
| <p>情報技術の発展と普及がめざましい今日、商業の世界においても、経営戦略上、IT活用の重要性が増している。</p> <p>そこで、意欲ある若手商業者を募り、店舗の経営戦略からIT活用の戦略立案、WEBサイト制作・運営に至るまでの実践的な指導を行い、WEBショップ成功者を生み出す。さらに、参加者同士のネットワークを構築し、将来にわたって持続的に切磋琢磨して成長していけるような仕組みづくりを行う。</p> |                     |                 |
| 2 NPOに期待するもの  |                     |                 |
| <p>若手商業者を対象に、経営革新のためのセミナーを開催していただく。セミナーの内容は、まずは店舗の経営戦略から入り、それに基づくIT活用の戦略立案、WEBサイト作成・運営に至るまでのものとし、商売に結びつく実践的な指導を行っていただく。</p>   |                     |                 |

|  |                              |                 |
|--|------------------------------|-----------------|
| オ  | 「団塊の世代」など中高年世代に対する地域社会への進出支援 |                 |
|  | 雇用対策課 中高年世代活動支援担当            | 直通:048-830-4539 |
| 1 テーマの説明   |                              |                 |
| <p>団塊の世代などで新たなスタートを目指している人に対して、第二の人生における様々な働き方を自ら決定し、各人の有するパワーを地域社会で発揮できるよう、中高年世代の様々なライフスタイルに応じた活動を支援するため、平成19年4月に団塊世代活動支援センターを設置した。</p> <p>NPOと協働して、中高年世代で地域活動に関心のある県民に対する個別相談の実施や、地域活動に関するセミナーの開催などに取り組むたいと考えている。</p>  |                              |                 |
| 2 NPOに期待するもの   |                              |                 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団塊の世代が地域社会に戻り自らの能力を活用するため、相談者のライフスタイルに応じた活動メニューの提供。</li> <li>・ 相談者の就職、地域活動、能力活用等に関する個別相談の実施。</li> <li>・ 地域活動（起業、ボランティア活動、コミュニティビジネス、ワーカーズコレクティブ活動等を含む。）の入門セミナー及び専門セミナーの企画提案及び事業の共同実施。</li> <li>・ 団塊の世代を含む中高年世代が様々な情報を得られるポータルサイトの作成。</li> </ul> |                              |                 |

|  |   |                 |
|--|---|-----------------|
| カ  | 「働く障害者のことが食卓の話題になる日」啓発プロジェクト（障害者の雇用・就労に関する啓発事業） |                 |
|  | 雇用対策課 障害者就業支援担当                                 | 直通:048-830-4537 |
| 1 テーマの説明   |   |                 |
| <p>本県の民間企業の障害者雇用率は1.45%で、全国平均と比べて低い水準です。一方、就労移行支援事業の創設や高等養護学校の開校で、就労希望者の増加が見込まれます。</p> <p>産業労働部と福祉部が連携して支援を強化しますが、障害者雇用の促進には、企業や関係者に加え、県民の理解を深めていくことが重要です。</p> <p>そこで、NPOと協働して、県民を対象としたシンポジウムや講座、企画展示などの啓発事業を実施したいと考えています。</p>     |   |                 |
| 2 NPOに期待するもの   |   |                 |
| <p>障害者就労は、これまで教育や福祉分野でもハードルが高いものと思いがちでした。ましてや、働く障害者と接点のない県民にとっては、関心が薄いものでした。</p> <p>このため、広く県民の理解が深まるように、次のような提案を期待します。</p> <p>「ハンディを超えて仕事にチャレンジしている障害者が少なくないこと」などについての効果的な啓発</p> <p>参加者が食卓や隣近所、職場で話題にするように、身近な問題として理解が広がるような啓発</p> |   |                 |

|   |                      |                 |
|---|----------------------|-----------------|
| キ   | 地域住民の参加による「カエデの森づくり」 |                 |
| 秩父農林振興センター  | 森林技術・林業支援担当          | 代表:0494-25-1312 |
| 1 テーマの説明  |                      |                 |
| <p>所有者による森林整備が困難な中で、県は県民参加の森づくりを進めようとしています。一方秩父市では、市の木である「カエデ」による地域づくりを進めています。また、秩父市内の「お菓子な郷推進協議会」は、カエデ樹液から作るメープルシロップを生かした新しいお菓子の創出を進めています。このため、カエデ樹液が採取でき紅葉が観光資源となる、モデル的な「カエデの森づくり」をNPOなどの団体や住民の参加のもとに進めたいと考えています。</p>                       |                      |                 |
| 2 NPOに期待するもの  |                      |                 |
| <p>広葉樹林の育成技術などのノウハウや多様な人脈を持つNPOに以下のことを期待します。</p> <p>樹液が採取可能なイタヤカエデの資源量を把握するためのカエデ類の調査<br/>後継樹育成のためのイタヤカエデ生育地における競合樹の除伐やイタヤカエデを含むカエデ類の植栽</p> <p>森づくりに関する団体、森林生態系などの学術調査を行っている機関や団体、樹液利用に関する団体等の「カエデの森づくり」に賛同するネットワークづくり</p> <p>地域住民参加の呼びかけ</p> |                      |                 |

|   |                  |                 |
|---|------------------|-----------------|
| ク   | 野生獣類による森林被害の防除対策 |                 |
| 森づくり課   | 間伐・森林循環担当        | 直通:048-830-4321 |
| 1 テーマの説明  |                  |                 |
| <p>近年、シカ等による森林被害が広がっており、一部の地域では健全な森林の育成が阻害され、公益的機能の発揮に支障をきたしていますが、従来の防除方法には課題も多く、経営の厳しい森林所有者の自助努力による防除は困難な状態となっています。</p> <p>そのため、効果的な防除対策について、NPOと協働して実施検証を行い、その成果を普及することにより、健全な森林を保全していきたいと考えています。</p> |                  |                 |
| 2 NPOに期待するもの  |                  |                 |
| <p>新たな獣害防除の方法については、幾つかの手法が挙げられていますが事例は少なく、その効果も充分検証されているとはいえません。</p> <p>そこで、森林ボランティア活動を行っているNPO法人に、新たな獣害対策の把握やアイデアの提案をしていただき、その手法について実施検証を行い、効果的な獣害対策の手法を確立できることを期待しています。</p>                           |                  |                 |

|  |                                  |                     |
|--|----------------------------------|---------------------|
| ケ  | 川をつかった地域活性化 ～元荒川（旧吹上地区）でのイベント開催～ |                     |
|  | 北本県土整備事務所 治水担当                   | 代表：048 - 540 - 8200 |
| 1 テーマの説明   |                                  |                     |
| <p>旧吹上町（現鴻巣市）中心部を流れる元荒川は、川の中に遊歩道が整備され、誰もが水に親しめる環境が整備されている。また、県や町（当時）によって魅力的な橋が数多く設置されており、元荒川沿いに植えられた桜並木とともに、街の顔となっている。この魅力的な水辺空間を都市における野外劇場として利用し、イベント等を開催することで、賑わいの創出や地域の活性化を図りたい。</p>  |                                  |                     |
| 2 NPOに期待するもの   |                                  |                     |
| <p>川をつかった地域活性化イベントの開催として、例えば以下のような提案を期待します。</p> <p>子ども達を対象としたカヌー教室等の開催<br/> 夏期（5月～9月）には流れが緩やかになり水深が深くなる。<br/> 元荒川の昔写真展の開催<br/> 元荒川の歴史を偲ぶ写真展を遊歩道や橋の上で開催してほしい。<br/> 水辺映画祭等の開催<br/> 河川内の遊歩道にスクリーンを設置し、対岸から人々が映画を楽しむ。<br/> こんな地域の活性化に寄与するイベントを開催してほしい。</p> |                                  |                     |

|  |              |                     |
|--|--------------|---------------------|
| コ  | 「川の教室」づくり    |                     |
|  | 河川砂防課 企画調査担当 | 直通：048 - 830 - 5162 |
| 1 テーマの説明   |              |                     |
| <p>内容： NPO、河川管理者等が連携して、子どもたちが川に親しみ、学び、楽しむという機会を提供します。</p> <p>効果： 子供たちが、地域住民、親子や異なる世代間の交流を通じて、川を素材に身近な環境について考え、自然に対する感性を育みます。そして、身近な自然を感じられる「環境」、自然を通じた学びの場、交流の場としての「親水」といった、川の多面的な価値が顕在化し、地域に潤いや賑わいといった魅力を創出します。</p> |              |                     |
| 2 NPOに期待するもの   |              |                     |
| <p>地域や川とのネットワークを活かし、地域の現状、河川の特長や子供たちのニーズを捉えた以下のような事業の提案を期待しています。</p> <p>イベント開催や機会の提供・・・水辺の遊び、自然観察活動、写生会等の創作活動<br/> 川を安全に、楽しく利用するための教育の実施<br/> 川の歴史や地域に根ざした知識・情報の提供</p>   |              |                     |

|  |                  |                 |
|--|------------------|-----------------|
| サ  | 河川の流域一体となった地域おこし |                 |
|  | 河川砂防課 企画調査担当     | 直通:048-830-5162 |
| 1 テーマの説明   |                  |                 |
| <p>内容： 県内における延長の長い河川を対象として、流域（上下流）という”つながり/面”の枠組みにより、文化や価値観の共通認識を図り、川・人・地域の新しい輪を形成するものです。</p> <p>効果： 共有した文化や価値観、川・人・地域の輪を地域力、地域資源に高め、地域を活性化します。</p>                  |                  |                 |
| 2 NPOに期待するもの   |                  |                 |
| <p>地域とのネットワークも活かし、上下流の資源（人・モノ・情報）を効果的に活用し、新たな地域資源の掘り起こし、流域コミュニティ意識の醸成に資する以下のような事業の提案を期待しています。</p> <p>多彩なイベント開催<br/>環境（水質、生き物）調査<br/>川の歴史や地域に根ざした知識・情報（語り部や写真）の提供</p> |                  |                 |

|   |                      |                 |
|---|----------------------|-----------------|
| シ   | 秩父路魅力アッププロジェクトの新たな活動 |                 |
|   | 県土づくり企画室 計画調整担当      | 直通:048-830-5363 |
| 1 テーマの説明  |                      |                 |
| <p>一般国道140号を軸として秩父地域の魅力向上を目的とした、秩父路魅力アッププロジェクトチーム（NPO団体、関係団体、国・県・市町、学識経験者で構成）により、景観づくり、環境づくり、観光振興に資する様々な活動を展開しています。</p> <p>平成19年度においては、「道の駅の連携と利活用」、「統一的なサイン計画」、「地域通貨を活用したまちづくり」などをテーマにした新たな活動を展開していきたいと考えています。</p> |                      |                 |
| 2 NPOに期待するもの  |                      |                 |
| <p>現在のチームメンバーに加え、新たなNPO団体が本プロジェクトの活動趣旨に賛同し、参画していただくことを期待します。</p> <p>また、NPO団体がもっている、地域資源の情報や人的ネットワークを活かし、景観づくり、環境づくり、観光振興に向けた、広がりや厚みのある活動が展開するような提案を期待します。</p>   |                      |                 |

|  |                             |                 |
|--|-----------------------------|-----------------|
| ス  | みんなで育てる公園づくりに向けた協働事業の仕組みづくり |                 |
|  | 公園課 公園計画・事業担当               | 直通:048-830-5403 |
| <p>1 テーマの説明</p> <p>県営公園では、県民のニーズを的確に捉えてより利用しやすい公園とするため、また、公園に愛着を持ってもらうため、計画から管理まで様々段階で県民との協働を図っています。</p> <p>更なる協働事業の推進に向けて、様々な経験とノウハウをもったNPOとしての立場から、公園における協働事業の仕組みづくりについて提案をお願いします。</p>                                 |                             |                 |
| <p>2 NPOに期待するもの</p> <p>県においても協働事業の進め方を検討していますが、行政には無いNPOとしての視点からの意見、提案をいただきたいと思えます。</p> <p>NPO同士の連携を通じたの先進事例調査や、その調査に基づいてNPOから見た公園における協働事業の望ましいあり方、広報の方法などについての取りまとめ、協働事業のマニュアルづくり、県営公園における協働事業の具体的な提案などについて期待しています。</p> |                             |                 |